

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メー ル info@takaoka-hongwanji.jp

◇第十七回世界仏教婦人会大会開催

去る五月十一日、十二日と京都国際会館において、第十七回世界仏教婦人会大会が開催されました。高岡教区からは、三十二名もの仏教婦会員の皆さまが参加くださいました。

高岡教区の世界大会参加者については約一年前、先着順で募集をし、申し込みがアツという間に割り当ての三十人を超えました。これも皆さまのご協力・各仏婦の活動のおかげさまと感謝しております。

さて、高岡教区一行の日程はと申しますと、十一日は高岡教区内遠近各地より、朝早くから準備いただき高岡教区教務所に集合。午前六時三十分には大型バス一台で出発いたしました。

まず、高岡インターから北陸自動車道を通り、敦賀からは一般道に下りて、比叡ドライブウェイ、十一時過ぎには比叡山延暦寺に到着しました。比叡山延暦寺では、比叡山参拝部の名物職員、小林福一さんにご案内をいただき、根本中堂を参拝いたしました。また、大修復中の根本中堂の屋根の様子も見学させていただきました。

その後、昼食を延暦寺会館でいただき、バスにて移動、第十七回世界仏教婦人会大会の会場である京都国際会館には午後二時前の到着でした。十一日はワークショップと交流会でした。館内で色々な催し物が開催されており、参加者は各自、自由行動で楽しみました。また、午後五時からメインイベントの一つである、

海外・日本の参加者が一堂に会しての交流会が開催されました。参加者は思い思いのプレゼントを五つ持参し、海外そして他教区からの参加者五名とプレゼントを交換し交流を深めました。交流会は計画

当初、夕食交流会という形で企画されていましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の流行により交流会と夕食を分けて行われる形となり、夕食は自教区だけで集まり、お弁当を黙食するという形に変更になりました。

翌十二日は、大谷流豆美総裁さまご臨席のもと、開会式が執り行われ、午前中はシンガーソングライターちひろさんのミニコンサート（記念公演）、そして勸学・京都女子大学名誉教授森田眞円先生の「願いに生かされて」と題した記念公演が行われました。午後からは、各国代表者による体験発表があ



り、
そ

高岡教区「親鸞聖人御誕生 850 年・ 立教開宗 800 年慶讃法要」修行

下記の通り高岡教区の慶讃法要を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日時：6月17日（土）
午後1時30分より

13:30

<第1部 法要>

- ・正信念仏偈作法（第二種）
- ・記念法話

14:50

<第2部 記念行事>

- ・さくら保育園園児による仏讃
- ・龍谷高校生によるヨサコイ
- ・仏教婦人会連盟『瑠璃の響き』によるコーラス

以上

- ☆会 計 海老坂秋彦（水波組宝教寺）
- ☆事務局長 公文名智（射水組光照寺）
- ☆広報部長 織田朋希（五位組長光寺）
- ☆副会長 石黒英俊（川上組聴信寺）
- ☆会 長 村上昂文（水波組西養寺）
- 平野俊（糸岡組順向寺）

★寺族青年会役員改選について

して世界大会の総会が開催され、次回の第十八回世界仏教婦人会大会は「ハワイ開教区」において開催されることが発表されました。次回開催のハワイ開教区の方々のビデオメッセージが放映され、その中で「皆さま、今回はぜひ、ハワイにいらつしやってください。また元気でお会いしましょう。」との呼びかけをもって、本大会は締めくくられたことでした。大会終了後、高岡教区からの参加者は、バスに乗り込み、二十一時頃無事に、高岡教区教務所に帰着しました。

得度講習会・考査のお知らせ

本年度高岡教区における得度講習会・考査を下記のとおり開催いたします。得度願提出予定の方には講習会・考査受講が原則必須となっておりますので、ご準備よろしくお願いたします。

尚、申込書類は教務所にございます。
40日前（7月12日）までに申し込みが必要です。

記

1. 期日 8月21日（月）～23日（水）
※（講習会2日・考査1日）
2. 会場 福光教堂
（南砺市福光974-2）
3. 定員 8名（定員に達し次第締切）

以上

西本願寺高岡会館

永代経法要のご案内

下記の通り高岡会館の永代経を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日時：7月19日（水）
日中—午前10時 速夜—午後1時半

法話：高岡教区布教団布教大会

日中：山名一徳 師
（伏木組龍善寺）
吉井瑠璃子 師
（新湊組智徳寺）
速夜：安達秀憲師
（川上組空泉寺）
村上昂文 師
（水波組西養寺）

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

念仏者九条の会全国集会 「憲法9条こそ人類の希望」報告

先月の五月二十二日に西本願寺高岡会館を会場に念仏者九条の会・非戦平和を願う真宗門徒の会主催の全国集会がオンラインにて開催され、講師の国際ジャーナリストの伊藤千尋さんが「憲法9条が人類をまもる」と題して記念講演をされました。

伊藤さんはロシアによるウクライナ戦争を挙げ、この戦争を終わらせるためには、国際正義の実現としてその方向に国際社会が努力すべきであり、日本の果たすべき役割はどちらかの陣営に与して対立を激化させていくのではなく、和平の仲介や戦後の復興に注力すべきだとされました。

しかし、日本はウクライナの危機や「台湾有事」に便乗するかのようになり、一気に防衛力（軍事力）の拡大を推し進める安保関連三文書が閣議決定され、防衛費の倍増や敵基地攻撃能力の保有、かつての大本営にあたる統合司令部を自衛隊に常設することが明記され、「平和国家」としての国際社会での位置づけを放棄したと指摘されました。また、「台湾有事」に備えてすでに沖縄諸島にはリーダー施設やミサイル部隊が配備されており、有事の際には米軍がそれらの諸島から敵艦隊や基地に向けてミサイル攻撃を行い、反撃での損害を避けるため、すぐにそこから退避するという日本の人々を捨て石にするかのような攻撃計画が立案されており、日本もその計画を了承していると述べられました。軍隊はあくまで軍事力を以って敵と戦うための存在であり、国民を守ることは優先ではない。強力な軍隊の存在や「国を守る」という発想ではかえって対立を招くだけで国を守れないとされました。

その上で「日本もウクライナのように攻められないために軍事力を増強すべきだ」「現在の日本国憲法はアメリカの押し付けである」という論に対し、ウクライナは二〇一四年のクリミア侵攻以来、相当の軍事力強化を行っており、GDP（国民総生産）に占める軍事費の割合はロシアをも上回る軍事国家であったが、それでも侵略を受けたことを例に、強力な軍事力があっても抑止力にはならないとされました。また、日本はすでに世界第九位の軍事大国であるが、中国に対抗するためにこれから

さらに段階的に防衛費を増額していくことを方針としているが、はるかに巨大な経済力を持つ中国に追いつくことは不可能で、抑止論として破綻していると指摘されました。

また、日本国憲法はアメリカの押し付けというのも誤解であり、実際には幣原喜重郎を中心とする作業部会が「核兵器の登場によって戦争は人類を破滅させかねない性質を持つことになった。その戦争をやめるには武器を一切持たないことが一番の保証となる」という視点のもとに憲法案を作成。そして幣原自らがマッカーサーのもとを訪れ「この案は今の日本では受け入れられないだろう。占領軍司令官であるあなたの命令という形で通してほしい」と説得。マッカーサーは九条の永久的な武力の放棄という規定に驚き、共産主義国家と対立していたアメリカにとっても日本が軍事力を放棄するのは不都合であったが、最終的に「（軍事的緊張が高まる中で平和や軍縮を実現するためには）突破口は自発的戦争放棄国の出現を期待する以外にない。日本はその世界的任務を受け持つ機会が与えられた」という幣原の説得に賛同した。このことはアメリカの公聴会でマッカーサー自身が証言していることを挙げられました。「九条で国は守れない」というが九条は一国の平和を守るためのものでなく、あらゆる国籍や民族、世界の人々を守るためのものであり、「憲法九条は国を守り、国を超えて人類を守る」叡智であると提言されました。その上で今後の具体的な取り組みとして、軍隊を廃止したコスタリカと積極的な平和外交で三つの国の内戦を終わらせたアリアス大統領の例を挙げ、憲法九条や武力を放棄した平和は絵空事ではなく実現可能な取り組みであることを挙げられました。また、ベルリンの壁が崩壊したきっかけとなったのは、わずか五人の若者たちによるプラカードでの無言の抗議活動だったことを例に、国を変えていくのは選挙ではなく市民運動であると述べられました。

無関心や傍観は時には「反対しない」という是認や肯定となりえます。お釈迦さまは支配・被支配、差別・被差別からの解放の教えを説かれました。その教えをいただく私たちだからこそ、非戦平和の道をもとに考えていきましょ。

【高岡教区教務所 主幹 岡西好持】

◇これからの日程（6/13～7/21）◇

6月	教区・財団行事	教化団体・組行事
13	減免審査会・常備会	
14	教務所長会（web） 常例法座	少年連盟役員会
15		若女総会
17	教区慶讃法要	
19		仏婦組織委員会 ヤスクニ専門委員会
20	聖典セミナー	
21		仏婦・寺女合同執行部会 教学研究室 布教団正副団長会議 水波組聞法のつどい ビハール総会 同朋委員研修会 まことの保育研修会
22		
23		
24		
26	財団評議員会 組主幹会議 非戦平和学習会	
27		少年連盟総会
28		門徒推進員世話役会
30	臨時教区会	
7月		
1		仏婦真宗入門講座
3		寺女研修会
4		総代会幹事会
6		ブロッグ講社打ち合わせ会
7		仏壯正副理事長会議
14	常例法座	
19	会館永代経	
20	聖典セミナー	
21	公聴会	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●7月9日（日）

未 定

（富山教区）

●7月23日（日）

未 定

（富山教区）

※西本願寺が主催し「北日本放送（KNB）」にて放送してまいりました毎週土曜日午前5時35分からの「西本願寺の時間」は、2022年9月末をもって放送終了となりました。

また「高岡教区及び富山教区が主催し「北日本放送（KNB）」にて放送しております毎週日曜日午前6時からの「西本願寺の時間」は「今後も放送いたします」。

西本願寺では「動画配信サイトを設置し法話等を配信しております」ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館7月の常例法座】

ご講師： 麻田秀潤氏

（新潟教区元上組極楽寺）

ご講題：『未 定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。